

専門分野 I

基礎看護学

【基礎看護学の考え方】

基礎看護学は、最初に学習する専門科目であり、看護学への導入である。また、看護の概念を学び、理論を構築していくものであり、全ての看護における思考様式と看護行為の土台である。そこで、専門分野Ⅱ及び統合分野へと発展していく基盤となる、基礎的理論や技術を学ぶ位置づけとし、この学習プロセスを経て、対象理解や基礎的実践能力を養う位置づけとする。

当校では、生命を尊び、人間を尊重し、専門職業人として社会に貢献できる看護師の育成を目指し、豊かな人間性を育むことを教育理念としている。その為に、「看護とは…」と自分なりの考えを持ち、その時々で見直しながら、生涯専門職業人として学び続ける力を育てたい。そこで講義は、看護学概論と基礎看護技術、臨床看護技術と段階的に構成し、対象理解を基に、看護援助に必要な基礎的知識・技術・態度を学び、考える力・判断する力を培っていけるように考えた。更に実習は、Ⅰ・Ⅱの２段階で構成し、対象や看護への関心を高め、理解し、実践する基礎的能力を養いながら、自己の看護に対する考えをみつめていけるように考えた。

看護学概論は、看護の主要概念から看護の役割を理解し、看護観を育てていく内容とし、「看護の概念」と「看護の理論」で構成した。看護の質の保証を高める看護管理や看護研究は、これまでの看護実践を踏まえて、実践上弾力的な構築ができるよう、統合分野に移行した。

基礎看護技術は、全ての対象や看護技術に共通する看護理論と、それを技術に適用する方法を理解し、技術として習得する内容とし、「看護の基本となる技術」「生活を整える技術」「検査・治療における技術」で構成した。「看護の基本となる技術」は、看護の専門性を支える理論と考え、その上に「生活を整える技術」「検査・治療における技術」が存在する。

「看護の基本となる技術」は、Ⅰ～Ⅴに分けた。Ⅰでは、看護技術を学ぶ基本となる考え方を理解した後、対象の状態・状況を把握する為の観察・測定技術を身につけ、Ⅱでは、看護者としての信頼関係を形成する為の人間関係技能を身につけられるように考えた。Ⅲの安全・安楽は、統合分野の医療安全にも含まれるが、教育理念の根底である「生命を尊び、専門職業人としての意識をもつ」を初期から意識づける為ここに位置させた。安全・安楽で教授していた感染予防を、人々の安全を脅かす現代の感染症に対応できる知識の修得をねらい、新たに科目立てした。Ⅳ・Ⅴでは、問題解決技能を活用し、看護を展開していけるように考えた。「生活を整える技術」はⅠ～Ⅲに分け、1単位ずつに独立させた。いずれも、対象が生活者であることを踏まえた日常生活の援助である。「検査・治療における技術」はⅠ、Ⅱとし、検査・治療・処置が安全かつ確実に行えるよう内容を見直した。

臨床看護技術は、健康障害をもつ対象の身体状態を把握し、状態に応じた看護技術を学ぶ内容とし、事例をアセスメントし看護へと活用できる、リアリティのあるものとした。

基礎看護学実習は、Ⅰをさらに1・2に分け、初期から学習の動機付けとなるよう、受け持ち実習を組み入れた。そして段階的に、看護の視点や考える力を習得できるようにした。Ⅱにおいては、講義や演習を統合し、看護を展開する上での基礎的能力を習得できるようにした。

【目的】

人間のライフサイクルにおける健康の意義と保健・医療・福祉における看護の機能と役割を理解し、看護行為の基礎で、実践力ともなる知識・技術・態度を養う。

【目標】

1. 看護の主要概念をとらえ、保健・医療・福祉における看護の役割を理解する。
2. 看護理論を学び、看護観を確立する為の素地とする。
3. 看護実践全般に関わる基本的知識と技術を習得する。
4. 看護実践の基盤となる問題解決技能を身に付ける。
5. 理論を技術に適用する方法を理解し、対象や生活を支える技術を習得する。
6. 診療の意義を理解し、診療を安全かつ確実に行える技術を習得する。
7. 対象の状態を判断し、看護を考え、実践する能力の基礎を身に付ける。

【構成及び計画】 [講義]

科目		授業科目	単位数 (時間数)	学年別計画時期		
				1年	2年	
看護学概論	I	看護の概念	1 (30)	1(30)		
	II	看護の理論	1 (15)		1(15)	
基礎看護技術	I	観察・フィジカルアセスメントの基礎	1 (30)	1(30)		
		コミュニケーション・援助関係論	1 (30)	1(30)		
	III	安全・安楽	1 (30)	1(30)		
		感染予防 指導				
	IV	問題解決過程 1	1 (15)	1(15)		
	V	問題解決過程 2	1 (15)		1(15)	
	生活を整える技術	I	環境・衣・清潔	1 (30)	1(30)	
			食事・栄養 排泄	1 (30)	1(30)	
		III	活動・休息	1 (30)	1(30)	
	検査・治療における技術	I	検査・治療・処置	1 (30)		1(30)
II		与薬	1 (30)		1(30)	
臨床看護技術		症状・状態からみたアセスメントと看護 治療・処置からみたアセスメントと看護	2 (45)	2(45)		
合 計			14(360)	10(270)	4(90)	